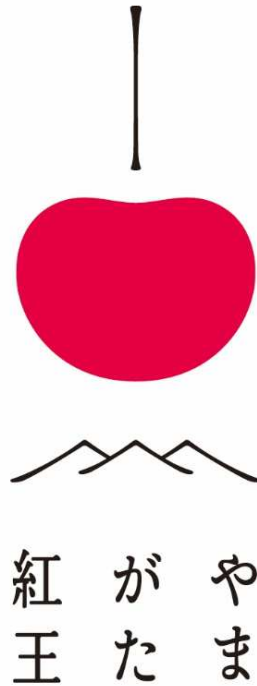


さくらんぼ大玉新品種「やまがた紅王」のロゴマークについて

1 ロゴマーク (商標登録出願済み)



【デザインコンセプト】

山形の大自然で育まれた、まるでお日様のように大きくてまぶしいさくらんぼ。147年^{*}の努力の賜物が、日が昇るように堂々と登場。

※147年:

苗木が初めて導入された明治8年から先行販売(令和4年)までのさくらんぼ栽培の歴史

2 商標登録出願の経過

- (1) 出願年月日 令和3年5月27日(木)
- (2) 出願番号 商願2021-64690

※ 香港、台湾、中国、韓国についても、商標登録出願済み

3 ロゴマーク作成にあたってのポイント

- (1) さくらんぼの王様の風格がある王道感
- (2) 性別や世代によらず、様々な消費者層から愛され、親しみやすさが感じられる
- (3) 山形らしさ、和のテイスト、存在感、他の商材に負けないインパクトがあるデザイン

4 活用場面

パッケージ等で、ロゴマークと商標名「やまがた紅王」を組み合わせた販売・輸出をすることにより、「やまがた紅王」のブランドイメージを広く国内外に発信する

【問合せ先】

山形県農林水産部園芸農業推進課
課長補佐(園芸農業推進担当) 深瀬 靖
TEL 023-630-2453
〔報道監〕 農林水産部次長 星 里香子

さくらんぼ大玉新品种「やまがた紅王」について

1 育成の経過

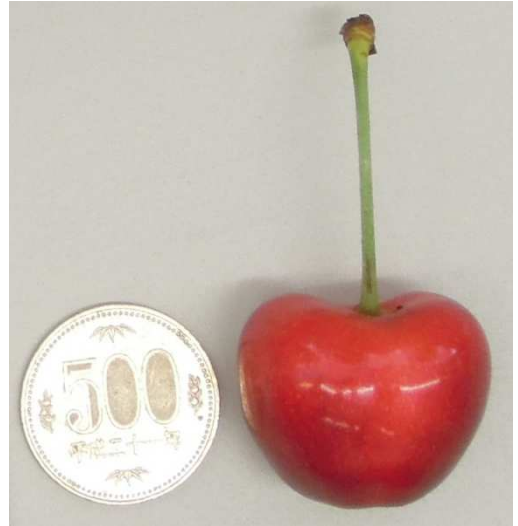
(1)交配年 平成9年

○交配親
「紅秀峰」×C-47-70(「レーニア」×「紅さやか」)
〔種子親〕 〔花粉親〕

(2)現地適応性の検討 平成23年～29年

・果実品質が良好で普及性が高いと見込まれたことから、品種登録(令和2年3月)。

(3)商標名「やまがた紅王」の登録 令和2年8月



■「やまがた紅王」の果実(実物大)

2 品種特性

(1)開花期と結実性

- ・開花期(満開期)は、4月下旬で、「佐藤錦」と比較して、2～6日早く、「紅秀峰」と同時期～2日程度早い。
- ・「佐藤錦」、「紅秀峰」と交配和合性がある。
- ・結実性は、「紅秀峰」より少なく、「佐藤錦」よりやや良好である。

交配和合性のある品種	交配和合性のない品種
「佐藤錦」、「紅秀峰」等	「高砂」、「紅さやか」、「紅てまり」等

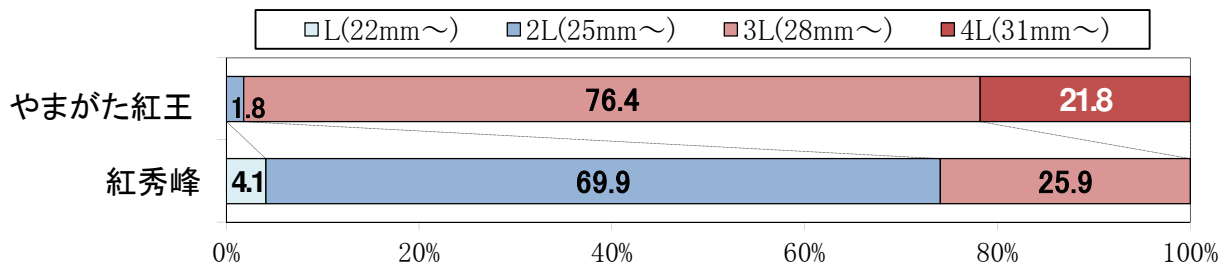
(2)収穫時期 ・「佐藤錦」と「紅秀峰」の間となる6月下旬から7月上旬。

■収穫時期のイメージ



(3)品質

- ・果実は、3L～4L 中心の大玉で、「紅秀峰」より大きい。
- ・果皮にツヤがあり、着色良好で、外観に優れる。
- ・糖度は20度以上と「佐藤錦」並みで、酸味がやや少なく、上品な甘さで、食味良好である。
- ・果肉が硬く、日持ち性に優れる。



■「やまがた紅王」と「紅秀峰」の階級比率(平成29年)

※「やまがた紅王」はコルト台7年生樹。「紅秀峰」はコルト台20年生樹。

3 果実の販売計画

先行販売開始 : 令和4年

本格販売開始 : 令和5年